プロの小説家が教える
クリエイターのための

能力図鑑

著
秀島 迅

日本文芸社

はじめに

　キャラクターが火や風、電気を自在に操り世界を掌握する、主人公が時空を超えて転生する——。

　世の中には、そのようなファンタジー作品やバトル系作品が数多く存在します。読み進めるごとに高まる没入感、ダイナミックで想像力豊かな描写に憧れて、筆をとった方も多いでしょう。

　本書を手に取っていただいたのも、キャラクターに授けるオリジナリティ溢れる能力を知りたいと思ったからではありませんか？

　読者が面白いと感じる作品には、とある共通点があります。それは巧みな文章表現が随所に織り込まれていること。書き手がどれだけ突飛で面白い能力を思いついたとしても、それを的確に描写し、読者に伝えるだけの表現力がなければ受け入れてもらえません。

　文章表現こそが物語のクオリティに直結するのです。

　さて、本書は物語世界に登場するさまざまな能力について、特徴や長所、短所、キャラとの相性、活用方法、タブーなど、多角的な視点で解説するクリエイターのための創作実用書です。壮大なスケールの大技から、ユニークかつニッチな小技まで、ありとあらゆる世

界観で活用できる多種多様な能力を取り上げ、一挙にご紹介しています。

能力とは、パワーレベルや扱うモチーフによって千差万別。いわば無限に存在する力といえます。能力という言葉を辞書で引いてみると〝物事を成し遂げられる力〟とあるように、じつは火を吹いたり、瞬間移動したりする、ファンタジックでドラマティックな力だけではありません。

私が本書を通してお伝えしたいのは、能力の種類や特徴のみならず、それらを使うキャラクターにフォーカスすること。どのように人物像や舞台設定、世界観とリンクして描けば物語を面白くできるかという、創作全体に及ぶノウハウです。

そこには能力の大小を問わず、一貫した法則があります。

みなさまには能力を描写する文章表現を学ぶだけでなく、物語創作という俯瞰した大きい枠で、本書をお読みいただけると幸いです。読後には、これまで気づかなかった執筆能力を会得できるに違いありません。

PROLOGUE ①

物語における「能力」の役割とは

ファンタジーやアクションはいうに及ばず、青春、恋愛、スポ根、さらにはミステリー、サスペンス、ホラー然り、物語に必ず登場するキャラクター。そんなキャラクターが「ここぞ」という場面で、決め手となる能力を繰り出した瞬間、劇的に物語の展開が変わります。

往々にして書き手は、その一発逆転シーンを描くために、長々とストーリーを綴っているといっても過言ではありません。

それは読者も同じです。クライマックスでの大どんでん返しを期待し、何百ページにわたる物語を延々読み続けます。

つまるところ、**キャラクターに付与する個別の能力は、起承転結の流れを担う重要なツールです。**

そればかりか作品を貫くテーマやメッセージにも深く関わり、決め手として機能する場合もあります。

いわば、物語の原動力かつ推進力としてカギを握るのが、キャラクターの持つ「能力」にほかなりません。

本書は『能力図鑑』というタイトル通り、あらゆるジャンルの物語で活用できる能力について多角的な視点で解説し、その特徴や使用例、注意点などについて言及しています。

そのなかで本書がもっとも重要視しているのが〝読者目線〟です。

たとえば「どのように描けば共感を得られるか」、「こんな不十分な描写は嫌われる」、「思わず応援したくなる書き方」といったように、それぞれの能力の魅力や難点に対する、読者の印象変化に重きを置

いています。

さらに能力の特性がキャラクターの在り方にどんな影響を与えるかを深掘りし、〝キャラ立ち〟させるノウハウを随所に盛り込んでいます。なぜなら〝キャラ立ち〟こそが感情移入を促し、物語への没入感を高める大切な要素だからです。

と、ここまで読めばおわかりの通り、**本書は『能力図鑑』でありながら、個々の能力を詳しく説明するだけに留まらず、物語創作という大枠での基本とハウツー、そして盲点まで網羅しています。**

それらはつまり、面白い物語を書くコツの集大成です。

同時に、文芸新人賞選考に残る必須テクニックでもあり、ヒット作を創作する秘訣でもあります。

「能力」という今までにない切り口に特化することで、具体例をできる限り多く挙げ、すぐに描写力と文章力の向上につながる構成になっています。結果、書き手としての総合力がぐんぐんパワーアップすることでしょう。

読後、あなたの創作能力もまた劇的に変わることをお約束します。

PROLOGUE ②

印象に残るキャラクターのつくり方

登場人物の個性を際立たせ、あたかも実在するように強く印象づける〝キャラ立ち〟について前頁で触れました。

性格、行動原理、主義、主張、思想――〝キャラ立ち〟を促す内的要因は複数が絡み合って作用します。

そしてそれらの設定は、物語の展開において必然性がなければ、読者の心をぎゅっと捉え、感情を揺さぶることはできません。

じつは能力もまた、**キャラクターのインパクトを存分に高める大切な要素だと認識していますか？**

多くの方は、キャラクターに授ける能力とは、敵を倒したり、優勢な立ち位置を確保したりする、単なるパワーツールだと捉えているようです。

もちろん、それも間違いではありません。しかし、本来の在り方は、性格や思想といった内的要因にリンクした属性と傾向を備え、キャラクターカラーを決定づけるアイコン的役割を果たすべきです。

たとえば、火を自在に扱える能力を持つキャラであれば、情熱的で積極的、どんな危険にもひるまない心根の強さがある、というように。水を意のままに操れるキャラであれば、冷静沈着かつクールな性格で、どこか神秘的で崇高な雰囲気に満ちている、というように。

能力の特徴と人物像が符合すればするほど、鮮明なキャライメージを読者の心に植えつけられます。

一方、能力の設定においては無限の強さを与えないよう、周到な

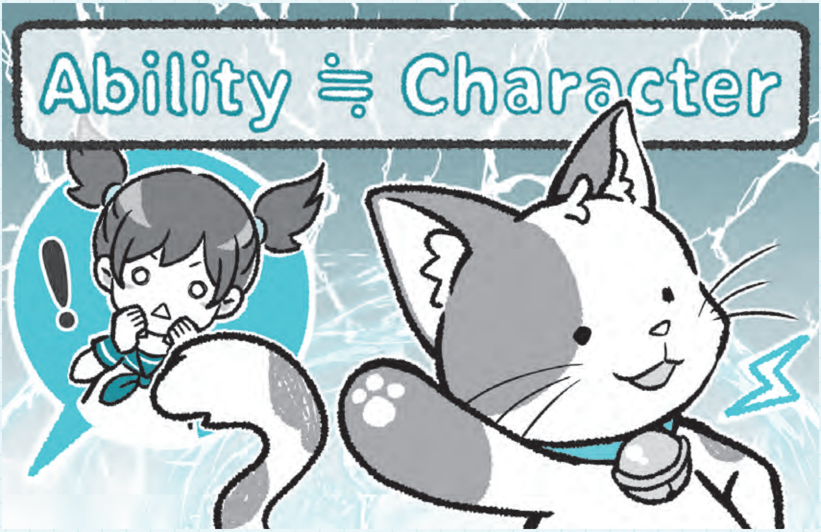
配慮が求められます。読者は主人公に対して、無敵・無双な力を望んでいません。**むしろ障害と困難に苦しみながら、葛藤する姿を切望しています。**人間的な弱さや脆さこそが共感点であり、自身を投影できる接点として、無意識のうちに同調する傾向があるからです。

ゆえに、付与する能力にはウイークポイントを必ず設定しましょう。多くのヒーロー（あるいはヒロイン）に発動条件があるのはそのためです。

「もうダメだ」「絶体絶命のピンチだ」と、読者をハラハラドキドキさせるしくみがあってこそ、物語への没入感を高められます。

さらにウイークポイントや発動条件は、なんらかのきっかけで克服できるよう、スペシャルな仕かけを用意します。ラストで主人公が困難を乗り越え、目的の達成と真の成長を遂げたとき、読者は大いなるカタルシスを感じるでしょう。

面白い物語とは、このように読者と一心同体になれる細密な技巧と配慮が随所に施されています。そして〝キャラ立ち〟にも、授けた能力がひと役買っているのは、いうまでもありません。



PROLOGUE ③

プロが秘密にしたがる能力作品の執筆ノウハウ

本書の構成内容と活用法について説明します。

PART.1では、自然環境と摂理にまつわる、全18項目に及ぶ能力について解説しています。これらは主にファンタジーの世界観にフィットする、いわば壮大なパワーの数々です。

「火・炎」にはじまり、「水」「氷」「風」と、**超自然的な力をキャラクターに宿すには、王道パターンがある一方、タブーや禁じ手も存在します。**そうした傾向への理解を深めながら、オリジナリティを生かすためのさまざまなヒントを提案しています。

PART.2では、「硬化」「軟化」「粘着」から「獣化・神獣化」「不死」まで、身体の強化と変化を伴う、全16項目の能力について解説。これらの**いわゆる変態型能力はハリウッド映画でもお馴染みのモチーフですが、じつはふさわしいジャンルが細分化されています。**また、癖の強い能力もいくつかあるため、キャラ属性や展開に応じた使い分けを提唱しています。

PART.3では、「超人的スキル」「霊的スキル」「空間操作」といった超常系スキルに加えて、「脳内操作」「心理操作」「時間操作」など、制御・コントロールする力に言及します。全14項目ものサイコキネシスな能力がもたらす、**物語構成の効能や注意点を網羅し、さらにキャラクターとの相性の問題にも触れ、実践的な具体例を交えて詳しく解説しています。**

PART.4は、それまでのチャプターとはトーンを変え、多彩なジャ

ンルの世界観に使える全16項目の内面的なスキルを掲載。**これまで語られることが少なかった素質の特徴と属性を分析しつつ、実践的な創作テクニックを多数披露しています。**

以上、PART.1～4は、左頁に[主な能力の活用法]と[能力を描写する関連語と文章表現]をまとめており、創作における使用頻度の高い具体例を列挙。辞書のようにも使える仕様となっています。

さらにPART.5では、キャラクターの能力描写における方法論を、知っておくべき全8つの視点で紹介。「世界観とのマッチング」「先天的・後天的な能力」「能力獲得に至る背景と動機」「起承転結との関係性」など、**プロだけが知っているノウハウとテクニックを解説し、すぐに創作に生かせるヒントも紹介します。**

本書の最大の特徴は、図鑑として能力のバリエーションを総覧できるだけでなく、物語のテーマやメッセージの重要性、キャラクター造形の奥義といった、書き手に必要不可欠な知見をマスターできる教科書だということ。プロット作成から完成原稿の仕上げまで、あらゆる執筆プロセスにおいて、心強いバディになるはずです。

本書の見方

PART.1 ～ PART.4

1 能力を記しています。

2 能力と類似性のあるものを記しています。

3 紹介する能力を用いる際の例文を記しています。

4 能力の活用方法を紹介します。

5 能力の描写の仕方や、文章の表現方法を紹介します。

6 能力を物語創作に生かすコツを解説します。

7 イラストや図で、紹介する能力に関連することをわかりやすく解説します。

PART.5

物語創作で能力を用いる際のポイントを解説します。キャラクターにどのような能力を持たせるか、どのようなシーンで能力を発揮させるかなど、多角的な視点で考察します。イラストや図を用いてわかりやすくまとめてあるので、ぜひ参考にしてください。

目次

はじめに ………… 002

PROLOGUE ① 物語における「能力」の役割とは ………… 004
PROLOGUE ② 印象に残るキャラクターのつくり方 ………… 006
PROLOGUE ③ プロが秘密にしたがる能力作品の執筆ノウハウ … 008

本書の見方 ………… 010

PART.1 ファンタジーの定番 「自然」に関する能力

本章のPOINT 自然系能力の描写は技の規模感が大切 ………… 016

火・炎 ………… 018
爆破・爆弾 ………… 020
水 ………… 022
氷 ………… 024
風 ………… 026
電気・雷 ………… 028
草・木 ………… 030
土 ………… 032
宇宙 ………… 034
光 ………… 036
闇 ………… 038
磁力 ………… 040
金属 ………… 042
鉱石 ………… 044
気候・天気 ………… 046
音 ………… 048
血液 ………… 050
腐食・腐敗 ………… 052

COLUMN 1 対照的な能力のバトルが〝見せ場〟を生む ………… 054

PART.2 バトルシーンで大活躍 身体の「強化・変化」を伴う能力

本章のPOINT 身体の強化は物語にスピード感を与える …… 056

硬化 …… 058
軟化 …… 060
粘着 …… 062
パワー強化 …… 064
スピード強化 …… 066
バリア・回避 …… 068
飛行・空中浮遊 …… 070
巨大化 …… 072
微小化 …… 074
増殖・分身 …… 076
重力・引力 …… 078
回復 …… 080
状態異常 …… 082
変化・変身 …… 084
獣化・神獣化 …… 086
不死 …… 088

COLUMN 2 物語創作は〝なれない自分になれる〟 …… 090

PART.3 突飛さゆえに描写に注意 「サイコキネシス」な能力

本章のPOINT 無限にアレンジ可能　超有能なサイコキネシス …… 092

超人的スキル …… 094
超言語スキル …… 096
霊的スキル …… 098
創造 …… 100
破壊 …… 102
調和 …… 104
空間操作 …… 106
脳内操作 …… 108
心理操作 …… 110
人体操作 …… 112
物体操作 …… 114
人形操作 …… 116
生物操作 …… 118
時間操作 …… 120

COLUMN 3 弱者→強者という王道の成長過程を踏む …… 122

PART.4 キャラクターの内面を明確にする「素質」スキル

本章のPOINT キャラクターの素質も物語に欠かせない能力 …… 124

リーダースキル …… 126
目標達成スキル …… 128
戦略スキル …… 130
サバイバルスキル …… 132
頭脳スキル …… 134
クリエイティブスキル …… 136
一芸一能スキル …… 138
バイオレンススキル …… 140
サポートスキル …… 142
姑息スキル …… 144
指導スキル …… 146
恋愛スキル …… 148
根性スキル …… 150
上品スキル …… 152
お笑いスキル …… 154
特殊スキル …… 156

COLUMN 4 鋭い観察眼を磨くことも書き手として重要 …… 158

PART.5 物語のクオリティを左右する 魅せる能力描写の方法論

本章のPOINT 面白い作品をつくるには〝説得力〟が必須 …… 160

能力設定に大切な４大要素 …… 162
キャラクターと能力の組み合わせの法則 …… 164
能力が先天的か後天的かでキャラ像は大きく変わる …… 166
キャラが絶対魅力的になる能力獲得〜目標達成まで …… 168

〝辻褄合わせ〟は物語創作に必要なスキル …… 170
起承転結の「結」で大切なこと …… 172
主人公の能力は「進化・発展」前提で設定する …… 174
王道テンプレートでも魅力的な作品にする秘訣 …… 176

COLUMN 5 能力発動は感情のピークを表すスイッチ …… 178

書き込み式 クリエイターのための キャラクター能力設定シート

STEP.1 キャラクターの基本設定を考えよう …… 180
STEP.2 キャラクターの素質を決めよう …… 181
STEP.3 キャラクターに能力を付与しよう …… 182
STEP.4 能力にまつわる細かい設定を考えよう …… 184
STEP.5 能力を生かしたストーリーを完成させよう …… 187
解答 キャラクター能力設定シート［記入例］ …… 188

おわりに …… 190

PART. 1

ファンタジーの定番「自然」に関する能力